

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表用)

公表:令和 3年 3月 10日

事業所名 ちゃいるどえつく元総社すくーる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	・視覚のない子供達に目が届く空間・バギー等を置く位置を考えて動きやすいようにしている	・バギーや補助いすの児童が増えて空間が狭くなっているため、今後広い空間で活動できるよう検討していきたい
	2	職員の配置数は適切である	6	1	・看護師や保育士の配置・職員数を多めに配置し、多い日は有給などで調整している	・ほぼ1対1の支援の為、職員の人数が多く必要になるため正社員の人数が最低限になっていますが、他の事業所の正社員等に業務を委託したり調整しながら、今後も業務内容の見直しをしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		・遊具を片付けるなどの工夫・階段に手すりを設置・狭いなりに一つ一つの空間を使う目的ごとに分けている・食事、お勉強の部屋、活動の部屋と分けている	・視覚支援として、教材の絵カードなどで提示や各支援ごとに空間を変えたりしています。また、情報伝達なども朝のミーティングや見える位置に記載するなどの工夫も行っております。歩行練習用の手すりも設置しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1	・空気清浄機や掃除や消毒の徹底・支援後の清掃をしっかりと行っている・日々清掃に努めている	・バギーなどや、補助いす等が増えて空間が狭くなっているため、今後検討していきたいです。清掃は職員一同徹底して行っております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	・朝のミーティング・職員会議に行っている	・個別の療育計画や三カ月に一度の評価表を作成することで見直しや振り返りなどがきちんと出来る様取り組んでおります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・今回の評価も参考に改善につなげていきたいと思っております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・毎年自己評価表での改善に向けての会議を行っております。HPIにも評価表の結果を毎年記載しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・現在では、当法人の統括施設長が定期的に各事業所を視察し、評価を行っております。今後、第三者委員会も行っていきたいと思っております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・他事業所への研修がある ・オンライン研修の実施	・実際の職員数よりも多く配置をし、定期的に研修機会を設けております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			・児童発達支援管理責任者が定期的に親御様や相談員さんなどと面談をし、適切な発達支援計画を作成しておりますので、今後も適切に対応が出来るように取り組んでいきたいと思っております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・指定されたアセスメントツールを活用しております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			・親御様や相談員さんも含めお話をした上で適切な支援内容を作成し実践しております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			・支援計画を元に、日々の支援計画、個別療育を行っており、3カ月に一度親御様にも評価表をお渡ししております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・会議での話し合い ・療育企画部からアドバイスをもらっている	・法人内に療育企画部を設け、支援内容を定期的に会議をし各事業所担当職員複数名で行っております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・月替え・日替え	・毎月集団療育一覧を作成しHPIに記載しております。毎日、毎月固定化しないようにプログラムが組まれております。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7		・一人一人の発達に応じて対応している	・集団療育と個別療育を分けてプログラム表を作成し、提示しております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		・朝のミーティングを毎日行う・朝のミーティングで前日の様子を共有している	・毎朝朝のミーティングを行い分担当も作成し業務についております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5	・終了後に参加できない時は、朝の打ち合わせで確認している	・前日の支援の振り返りなども翌日の朝に確認し合っているので十分だと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		・必ず記録をしている ・振り返って翌日に生かせるようにしている	・必ず記録をその日に行い翌日の振り返りに活かせるよう取り組んでおります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		・個別療育は毎月フィードバックし計画の見直しに役立っている	・毎月フィードバックをし、計画達成の有無を確認しております。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		・医療ケアが必要な児童に対しては看護師が参加している	・基本的には、児童発達支援管理責任者が参加し、必要であれば看護師も同席しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3	・保育園やこども園との連携	・当事業所は、幼稚園や保育園に行き情報共有をはかったり、リハビリ同行をさせて頂き情報共有が行えるように取り組んでおります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1		・リハビリ同行など、定期的に行っております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1	・リハビリ同行をしている	・指示書を頂いたり、リハビリ同行をさせて頂いております。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	・担当者会議やあゆみを活用し情報共有している	・保育園などが決定した時には、あゆみなどを作成しお渡ししております。また、担当者会議なども行っております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		・担当者会議やあゆみを活用し情報共有している	・卒業時には、えっぐでのあゆみを作成し、小学校や特別支援学校、放課後等デイサービスなどに支援の引き継ぎが出来る様にしております。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		・セミナーや講演会などの参加は定期的に行っております。同法人の事業所への研修や助言などは行っておりますが、センターなどへ訪問するなどの直接的な研修は受けていませんので、今後検討して行きたいと思っております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	5	・コロナ前は行っていた。	・コロナが終息したら定期的に交流する機会があればいいと思います・コロナもあり交流の機会が持ていないので落ち着いたら交流の機会を持てるように対応していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		6		・今後検討して行きたいと思っております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・送迎時に子供の状況をお話している・送迎時にその日の様子を伝えたり家庭での様子を把握している	・連絡帳や、送迎時に親御様と様子をお話し、共通理解を持てる様取り組んでおります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4		・今後検討中です。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に読み上げ説明しております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・定期的にモニタリングを行っている・新しい計画が出来たら必ず内容を読み上げ説明をし渡している	・契約時に読み上げ説明しております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・定期的に面談を行っている・悩みに対して、連絡帳に返答したり、直接親御様にお話ししたりしている	・どのような時でも保護者から気軽に相談してもらえるような事業所でありたいと思います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		・コロナで中々開催できずにいた交流会の機会を持てるように準備しております。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・管理者面談の機会を設けお話を頂いたり、申し入れがあった場合は即座に対応出来るようにしております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	・行事予定を配布	・つなぐ通信を定期的に発行し配布しております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			・鍵付き書庫に保管し取り扱いには注意しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・手話やジェスチャーを要している	・今後定期的に行える様準備しております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		・現在は、医療ケア児もいますので、コロナもあり外部の方を招待する活動は行えておりません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2		・マニュアルは作成し、訓練も定期的に行っております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・毎月の療育計画や連絡帳などに各避難訓練の明細は掲示しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			・契約時、面談時に確認し、必要な児童は対応マニュアルを作成し掲示してあります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		・アレルギーを把握しお弁当、おやつは持参してもらう	・アレルギー物質が入ってしまわないよう食事介助中は十分に注意しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	・報告書の作成	・報告書をファイルにまとめ共有出来るようにしております。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3		・研修があれば、順に参加しております。職員間でも何かあれば報告するよう伝達しております。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		・支援計画書に記載し親御様にも説明しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。